

宮津市との連携企画

令和7年6月25日開催

フューチャー・デザイン財政研修会

令和7年9月8日

近畿財務局舞鶴出張所 きんざいニュース vol.151

開催経緯

◆ 開催経緯

宮津市へ訪問した際に、財務局の地域連携に関する取組みを紹介したところ…



フューチャー・デザインの手法を用いた財政研修の取組みに興味がある

既に、市の財政の現状や予算要求の方法といった細かい実務に関する研修は実施しているが、総合計画の後期に向けて、過年度の研修を一步前に進める内容の研修が必要

▶▶ 係長級職員(約30名)を対象に開催決定

💡 フューチャーデザインとは…

- ・様々な社会課題を考える際に、現在の世代だけではなく、その課題の影響が及ぶ「未来の人々」の立場も踏まえ議論する手法。
- ・私たち自身が未来にタイムスリップした気持ちで未来人になりきり、現世代へ提言を行う方法。

企画の構成・ねらい

01 財政講義



- ✓ 財務状況把握ヒアリング^(※)を実施する財務省の目線で宮津市の現状や見通しについて説明することで、市政運営を担う各事業担当職員の宮津市の財政についての理解を深める
- ✓ 類似団体と比較した宮津市の分析結果などを説明

※ 財務省が地方公共団体に貸付している財政融資資金について、その償還(返済)確実性を確認するために貸付先地方公共団体の財政状況を把握する活動。

02 フューチャーデザインの手法を用いたワークショップ



- ✓ 2040年の姿になりきり、長期的な目線で今後の施策を考える機会とする
- ✓ グループワークを2回実施することにより、フューチャー・デザインの手法に慣れ、より良い施策案が出ることを期待

ワークショップにおいて設定した目標

【ステップ1】 各事業担当課職員同士の相互理解を深めるための対話機会を設けること

【ステップ2】 施策案を考えることにより職員の主体性を育てること

【ステップ3】 分野を跨ぐ具体的施策案を出すこと

03 他団体の取組事例紹介



- ✓ 他団体がフューチャー・デザインの手法を行政運営で実践することで、市民との合意形成に成功した事例を紹介
- ✓ 活用事例を職員が知ることで、市民を巻き込んだ施策検討の手法としての可能性に期待

冒頭あいさつ・財政講義



◆冒頭あいさつ

近畿財務局舞鶴出張所 所長

「本日の研修会においては、皆様が未来人のキャラクターになりきって、今、すべきことを現代に生きる私たちに提言してもらいます。どうぞ“ネジが一本飛んだようなご意見”をお聞かせください。楽しみにしております。」



◆財政講義

「財務省の視点から見た宮津市の財政」

近畿財務局京都財務事務所財務課 課長

- 財務省資料をもとに、宮津市の財政状況を分析
- 財政指標(債務や積立金の大きさ、収支の状況など)の推移
- 類似団体との比較
- 将来の財政課題と対応の方向性

について、ポイントを絞って説明

フューチャー・デザインの手法を用いたワークショップ

◆2040年の宮津市ヘタイムスリップ

① 未来人⇒現代

『2025年頃に宮津市で実施した2つのプロジェクトについて、
2040年ではどのような効果が出ているか、未来人の視点からを考えて現代人へメッセージを送ろう』

② 現代人⇒未来

『①からのメッセージを受け取り、2026年～2030年度に取り組むべき施策を考えよう』



グループワークのテーマ

◆検討するテーマ

各種行政施策を横断的かつ連携的に検討することを目的として、第7次宮津市総合計画(令和3年度～令和12年度)に掲げられている“2つの重点プロジェクト”をテーマに設定。

グループワークを2回実施し、2つの重点プロジェクトについて、回ごとにテーマを変えて課題や可能性を検討。本研修で得られた有意義な提案については、第7次総合計画の後期基本計画への反映も視野に入れている。

1 「若者が住みたいまちづくりプロジェクト」

<進めるべき施策分野>

1 関係人口創出・拡大 2 移住・定住促進 3 子育て支援 4 男女共同参画・女性活躍 5 学校教育 6 地域コミュニティ 7 市民協働

2 「宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト」

<進めるべき施策分野>

1 人財づくり 2 市民協働 3 文化財保存・活用 4 観光振興 5 商工業振興 6 農林水産業振興 7 海の活用

◆検討の流れ

未来人になりきり..

各施策分野の
2040年での効果

現代人に戻り..

2025年の現代人に
贈るメッセージ

実施すべき施策・
理由・ねらい

◆発表

20年後の未来人から「早くからこうすべきだった」「取り組んでくれてありがとう」という声を聴き、各班の“近い将来に実施すべきイチオシ施策案”を発表。

その結果、実現可能性とインパクトを兼ね備えた施策案が発表され、大いに盛り上がりました。

2回目ではテーマを変更し、さらに参加者の個性が光る施策案が導き出され、斬新かつ実効性のあるアイデアが提案されました！

発表された案
(抜粋)

小中高生に放課後に学習出来る機会を！

天橋立だけに頼らない観光資源を！

ICT環境整備のための補助制度を！

◆講評

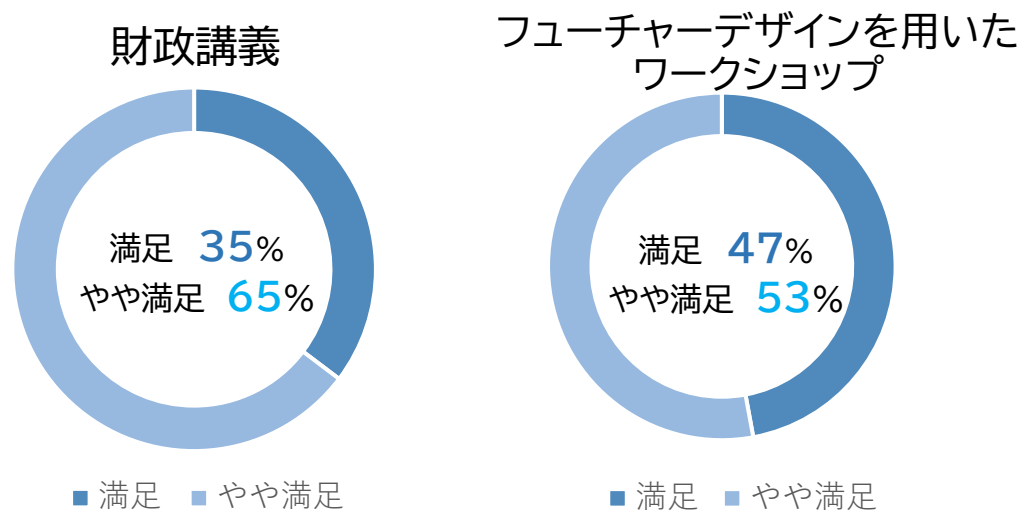
宮津市役所総務部総務課 課長

「フューチャー・デザインの手法は様々な場所に取り入れられており、本日学んだことを市の明るい未来を作る一助にしていっていただきたい。そして、係長級の職員については、総合計画の後期において案出しをしてもらう機会があるが、その際には創意に富んだ施策案を出していただきたい。」



アンケート結果

◆実施後アンケート『研修の満足度を教えてください』



研修参加者からの声💬

- ✓ 財政講義は素人にもわかりやすかった。
- ✓ 受けたことのない研修で新鮮だった。
世代の違う方の意見も聞くことができ、勉強になった。
他の意見を否定しないというのが良かった。
- ✓ フューチャー・デザインの考え方は将来に向けた施策を考えるにあたり必要な思想だと思った。なかなか突き抜けた未来を想像することは難しかったが、他の研修参加者の意見も非常に参考になるものだった。

- さいごに -

本企画では、財政の現状について財務状況把握ヒアリングを実施する財務省による分析を行い、加えてフューチャー・デザインの手法を取り入れることで、参加者である市の職員が、現状の課題認識を深めつつも市の将来像を多角的に描き出すことを目指しました。ワークショップでは、部署の垣根を越えて自由闊達に意見を交わされる様子が印象的でした。当企画が、今後の市の行財政運営の高度化に寄与する機会となれば幸いです。

舞鶴出張所は、引き続き地方公共団体の声を丁寧に聴き、ニーズの把握に努め、地域に貢献できるよう取り組んでまいります。

近畿財務局舞鶴出張所管財課総務係

☎0773-62-3557 ✉maizuru-kanzaika@kk.lfb-mof.go.jp